

衆議院議員 小宮山泰子様 ご挨拶

【稲場】衆議院議員の小宮山泰子先生がいらっしゃいましたので、一言ご挨拶をお願いしたいと思います。小宮山泰子先生は、超党派議員連盟の水制度改革議員連盟の副代表をなさっています。代表は上川陽子さんで静岡県選出の衆議院議員です。そして、その右腕、副代表ということで、今日、お祝いに馳せ参じていただきましたので、一言、激励のお言葉をいただきたいと思います。先生、よろしく申し上げます。

【小宮山】皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、立憲民主党衆議院議員の小宮山泰子、また水制度改革推進議員連盟という超党派の議員連盟で副代表をさせていただいております。こちらに前田先生もいらっしゃいますけれども、ずっと長く関わっている者であり、水循環基本法をつくるためにできた超党派議員連盟で、会長は4代目ぐらいになります。

私もその中でだいぶ長くなってまいりましたので、副会長をするかたわらで野党側をまとめる役割を行い、去年は水循環基本法の改正がありました。最初に地下水は公共のものであるという定義をしが、それだけでは結局現場は動かないということで、地下水をちゃんと把握をし、方向を示していかないと、まだまだ十分ではないことは、稲場先生がよくおっしゃるとおりだと思っております。

今日も遠方から来ていらっしゃいますけれども、やはり水の問題、地域ごとに違います。また、去年は熱海での土石災害があった。あのときにも地下水の影響があったと現場の方に聞いておりますので、観測計の設置とか、いろんな課題がまだまだ残っているんだと思っています。

法改正もさまざま、ちょっとずつ水に関するものが増えていますが、今、中村先生の話 ちょっとだけ聞いていると、まだ日本はいろんな定義、法律上、ことに定義が足りていないので、対応が地域に任せられ、不明瞭なんだなということをちょっと今感じております。また新しい、水に関する課題をいただいたなと思っております。

下水道も浄化槽も含めていろいろな課題があります。いろいろな多くの超党派の議員の先生がこの課題をずっと引き継いでおります。しっかりと私自身も、まだ途中ですが時代に合わせ、そして本来あるべき姿に一步ずつ近づけるように頑張っていきたいと思っております。

今日は開催、暑い夏ではございますが、水分を採りながら、ぜひ有意義な時間になりますことを心から祈らせていただきまして、私、小宮山泰子のお祝いのご挨拶とさせていただきます。皆さん、ありがとうございます。